

平成21年度 生涯学習推進担当の取組方針

生涯学習推進担当担当部長 金川剛文は、豊かな文化を創造するまちを目指し、本年度実現すべき緊急かつ重要な生涯学習推進担当の取組事項について実現に向けた取組方針を提示します。

平成21年6月19日

生涯学習推進担当担当部長 金川剛文

職員の意識改革

○組織力の維持・向上

(内容)

組織力の維持、向上を図るためには、担当以外の業務に対しても、意見交換をする等、積極的に関わる意識が重要になります。

そのため情報の共有化、意思の疎通を図り、共通の認識に立って業務にあたることを徹底します。そのため、業務ノウハウを伝承するための課内研修を実施します。

業務点検(コンプライアンスの確保を含む)

○進捗状況の把握

(内容)

事務事業について、正確かつ適正に実施するためには業務実態の把握及びチェック体制の確立が重要になってきます。そのため各課協議を毎週必ず行い、業務の進捗状況を把握し、適切な管理、監督、指導を徹底します。

また、個々の事務処理においては、担当以外の業務に対しても、制度的な不備や初歩的な誤りを見逃すことがないように高い意識をもって取り組みます。

市民からの信頼回復

○市民からの信頼回復

(内容)

事務事業の実施にあたり、事務の効率化等は重要であるが、チェックなどの処理を怠ることなく基本に立ち返り、誠実な対応を心がけるとともに、積極的な説明責任や情報提供に努めます。

子どもが元気に育つまち

○子どもが元気に育つまち

(内容)

子どもたちの豊かな心を育むため、大人も子どもも日頃から文化、芸術に親しめるような環境づくりに努め、生涯にわたる学習意識の土壌づくりに努めるとともに、子どもを対象とした事業を実施します。

高齢社会への対応方針

○高齢社会への対応方針

(内容)

近年、自由時間の増大等により、市民の自主的で、創造的な文化活動が活発になってきており、高齢者の参加が増えています。このため各種文化・芸術イベントや行事の実施にあたり、安全確保や参加しやすい条件整備と情報提供の充実を図っていきます。

重要な取組事項

○(1)野村総合研究所跡地の整備

(内容)

野村総合研究所跡地整備における、民間活力の導入を前提とした全体事業費の試算、事業手法の検討、民間機能の参入の可能性等を見極めるため、民間活力導入可能性調査(PFI調査)を実施します。

並行して、民間活力の導入や博物館、美術館の建設にかかる専門的な助言、指導を得るため、専門委員を委嘱するとともに、庁内に「検討委員会」を設置し、具体的な事業実施に向けた検討を進めます。

○(2)鎌倉市川喜多映画記念館建設事業

(内容)

旧川喜多邸については、川喜多夫妻の功績にふれながら、鎌倉らしい佇まいを楽しむことができる施設として整備します。施設の機能は、平成19年度に策定した(仮称)川喜多記念館整備方針に基づき、展示、情報、研究機能を主体とし、また、映像資料を活用するための映写・鑑賞室を設置するものです。

本年度は、鎌倉市川喜多映画記念館条例を設置し、平成22年4月開館を目指します。

○(3)愛唱歌の作成

(内容)

市制施行70周年にあたり、新たな文化の創造として未来を担う子どもたちや、若者たちにも親しまれ、郷土愛を醸成する鎌倉市愛唱歌を作成します。

○(4)鎌倉芸術館の管理運営

(内容)

指定管理者による芸術館の管理運営については、平成18年度からの実績を活かし、今後もモニタリングを定期的に行いながら、効率的な運営をします。

開館16年を経過した鎌倉芸術館の建物・設備については、経年劣化による不具合等への対応と、円滑な施設利用のため予防保全として、計画的な修繕を実施するとともに、バリアフリー対策としてのエスカレーター設置工事を実施します。